

平成 30 年 10 月

保護者各位

社会福祉法人徳風会

「 感染性胃腸炎（ノロウイルス等）について 」

例年 10 月から翌年 3 月ころまでは、感染性胃腸炎が多く発生します。非常に感染力が強いことから、保育園でも大変危機感を強めています。感染性胃腸炎の流行を防ぐためには、保育園での衛生の保持とあわせて、ご家庭での感染予防、医療機関での受診、感染時の自宅での療養が大切です。

国の定めた「保育園における感染症対策ガイドライン」では、登園の目安として次のようになっています。感染性胃腸炎に感染したときには、下記のガイドラインに従い体調が回復するまでご自宅で療養するようにしてください。

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
ウイルス性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)	症状がある間と、症状消失後 1 週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、 普段の食事がとれること

* 「保育園における感染症対策ガイドライン」より

「感染性胃腸炎の感染予防について」のお知らせもお渡しします。ご家庭においても、感染予防と拡大防止にご協力をお願いします。

感染性胃腸炎の感染予防について

感染性胃腸炎を起こすウイルスはいくつも見つかっていますが、ノロウイルスは主な原因の一つです。とても感染力の強いウイルスで、毎年、全国的に流行しています。

原因は検便でしかわかりませんが、原因にかかわらず、ノロウイルスへの対策に準拠した対策をすることで感染拡大を防止できます。

ご家庭においても、感染予防と拡大防止にご協力をお願いいたします。

【ノロウイルスとは】

- 主な症状 おう吐、下痢、腹痛、発熱
- 潜伏期間 平均 24～48 時間
- 発生時期 10 月から 3 月にかけて多く発生
- 感染経路 発症者のおう吐物や便に触れた手によって、ウイルスが口に運ばれることで感染します。また、カキなどの食品からも感染する場合があります。
100 個あれば感染します。(便 1 g に数億個、吐物 1 g あたり 100 万個含まれます)
- 消毒方法 アルコールでは死滅しません。次亜塩素酸ナトリウムを使用します。
85 度以上で 1 分以上の加熱をすれば死滅します。

～～ご家庭では、次のことを行いましょう。～～

健康観察と早めの受診

普段からご家族の健康状態（おう吐、下痢、腹痛、発熱の有無）を観察しましょう。もし症状があれば通っている幼稚園・保育園・学校・会社等に連絡をし、休むようにしてください。

おう吐や下痢などの症状がある場合は、早めに受診しましょう。また、脱水症状にならないように、水分補給に努めましょう。



～感染をひろげないために～

1 手洗いは感染予防の基本です

手には、目に見えない様々なウイルスがついています。また、患者さんのおう吐物や便には、たくさんのノロウイルスが含まれています。これらが、直接・間接的に手指などについて、二次感染の原因となります。

ウイルスを手から落とすには、手をこまめにしっかりと洗うことが重要です。帰宅後、トイレの後やおう吐物・便の後始末の後、食事や調理の前に、石けんと流水で丁寧に洗いましょう。



2 患者さんのおう吐物・便の片付けおよび排泄の介助は、正しく行いましょう

ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、これが口に入って感染することがあります。おう吐物や便の処理は、乾燥しないうちに速やかに処理しましょう。また、ウイルスが屋外に出て行くよう、窓を開け（喚気）ながら行います。処理が終わったら、必ず石けん・流水で手を洗いましょう。



【おう吐物・便の片付け】

- ・使い捨てのマスクと手袋をつけます。
- ・汚物中のウイルスが飛び散らないように、おう吐物・便をペーパータオル等で静かに拭き取ります。
- ・塩素系の消毒液（濃度約0.1%）をしみこませた布や新聞紙で床や便器を覆い消毒し、約10分後、水拭きをします
- ・おむつや拭き取りに使用したペーパータオル等は、ビニール袋に密閉して捨てます。蓋付きのゴミ箱に入れ屋外に置くことをお勧めします。
- ・患者さんが触れたと思われる場所（トイレのレバー、蛇口、手すり、ドアノブ等）は塩素系の消毒液（濃度約0.02%）で拭き掃除をします。



【排泄の介助】

- ・使い捨てのマスクと手袋をつけます。
- ・排便後のおしりを拭いてきれいにします。
- ・便のついたおむつやおしりを拭いた紙は、便器に流さず、ビニール袋に密閉して捨てます。蓋付きのゴミ箱に入れ屋外に置くことをお勧めします。

3 湯船に入る前には、おしりをきれいにしましょう。

- ・患者さんは、一番最後に入浴します。（家族との混浴はしない）
- ・下痢症状のあるうちは、湯船に入らずシャワーのみにします。
- ・風呂の水は毎日かえて、浴槽や風呂の床、洗面器、椅子なども毎日掃除をします。
- ・タオルやバスタオルの共用はしないようにしましょう。



4 下着や汚れた衣類は、消毒してから洗濯しましょう。

- ・患者さんの便やおう吐物で汚れた衣類は、他の家族の物とは別に洗濯します。
- ・付着した便やおう吐物は、使い捨ての手袋をして取り除きます。
- ・85℃で1分以上になるように熱湯消毒するか、塩素系の消毒液（濃度約0.02%）に10分間つけた後、普通に洗濯します。
- ・吐物がついたまま洗濯機で洗ってしまった場合、洗濯浴槽のウイルスを除去するため塩素系の消毒液（濃度0.1%）を満たし10分間のつけおきをお勧めします。

5 寝具が汚れた場合

- ・付着した便やおう吐物が飛び散らないよう、使い捨ての手袋をして濡らしたタオル等でできるだけ吐物を取り除き、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いします。
- ・85°C以上で1分以上の熱水洗濯を行うか、塩素系の消毒薬(0.02%)に10分漬けた後、普通に洗濯します。
- ・布団などですぐに洗濯できない場合は、使い捨ての手袋をして表面の便やおう吐物を取り除いた後、スチームアイロンで1分以上熱殺菌します。その後布団乾燥機を使うと効果的です。(布団乾燥機を使うときは、窓を開けて換気しましょう)
- ・下洗いをした場所は(シンクなど)、塩素系の消毒薬(0.02%)で消毒をしてから掃除をしましょう。



塩素系の消毒液の作り方

ノロウイルスに効果がある消毒液は、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用漂白剤)です。消毒用アルコールは効果がありませんので、ご注意ください。

家庭用漂白剤の原液濃度は約5%です

【おう吐物・便がついた、床や便器の消毒】

0.1%の濃度 ⇒ 500mlのペットボトルを使用
原液キャップ2杯(10ml) + 水を500mlになるように入れる

【汚れた衣類や患者さんが触れた部分の拭き掃除】

0.02%の濃度 ⇒ 1ℓのペットボトルを使用
原液キャップ1杯(5ml) + 水を1ℓになるように入れる

※消毒薬は、子どもの手の届かない所に保管しましょう。

※次亜塩素酸ナトリウムは、開封後揮発し濃度が低下します。新しいものを使いましょう。